

平成25年度 近畿地区社会教育研究大会 [和歌山大会]

平成25年度 和歌山県社会教育研究大会

日時 平成25年 **9/5(木)** 開場・受付開始 **9:40**

場所 全体会 **和歌山県民文化会館大ホール**
10:20～12:20

分科会 **和歌山県民文化会館・ホテルアバローム紀の国・和歌山県自治会館**
13:40～15:40

研究主題

つながりを築く社会教育のあり方

～今、社会教育委員に求められること～

今日、都市化・過疎化や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等により、地域社会の人間関係の希薄化や人々の孤立化が指摘されています。さらに本格的な少子・高齢化社会に突入する中、地域における新たなふれ合い、支え合い、助け合いの再構築が急務であると考えられます。

また、児童虐待、いじめ、不登校、非行問題等、学校教育だけでは解決できない問題が後を絶たず、核家族化が進み相談したり助け合ったりできる人が身近にいない保護者が増えている現状においては、子どもたちの健やかな成長には地域全体で育てていく取組が必要になっています。

そのような中、今、求められるものは、地域社会に生きる一人ひとりが、自分を取り巻く環境に無関心ではなく、それぞれの地域課題を自分自身の課題と認識し、地域づくりに関わっていくことであり、そのためには、より一層のつながりを築く社会教育の取組が必要であると考えられます



記念講演

南方熊楠の生涯

講師：濱岸宏一氏（南方熊楠顕彰館館長） 11:00～12:20

「雨にけふる神島(かしま)を見て紀伊の国の生みし南方熊楠を思う」

これは、昭和37年5月、昭和天皇が白浜町^{びらひ}を行幸（天皇が外出すること）した際に詠まれた御製（天皇の詠まれた歌）です。天皇が一民間人の名をフルネームで歌に詠まれることは極めて希なことです。

昭和4年、南紀行幸の昭和天皇に粘菌や海中生物についての御進講をしたのが熊楠でした。天皇自ら進講を願われ、当日は時間延長まで希望されました。

後年、熊楠が他界した時、御進講の際に熊楠が献上した粘菌の標本が、キャラメル空き箱に入っていたことを懐かしそうに述懐したと言われています。

南紀再訪の折、神島を眺めながら、天衣無縫な在野の天才学者熊楠を偲んでこの歌を詠まれました。

柳田國男に「南方熊楠は日本人の可能性の極限だ」と言わしめ、『ネイチャー』誌に掲載された論文数は50余で日本人最高記録保持者。鎮守の森伐採を危惧して始めた『神社合祀反対運動』は、エコロジー活動の先駆けと言われた「日本最初のエコロジスト」。博物学者、民俗学者、細菌学者、天文学者、人類学者、考古学者、生物学者、別名「歩く百科事典」の熊楠の生涯を御紹介します。

平成25年度 近畿地区社会教育研究大会[和歌山大会]

平成25年度和歌山県社会教育研究大会 開催要項

- 趣 旨** 近畿各府県社会教育委員をはじめ、社会教育関係者が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践や研究の成果について交流を深め、今後の社会教育活動の一層の振興を図るとともに、時代の変化と社会のニーズに応じたこれからの社会教育のあり方について研究協議を行う。
- 研究主題** 『つながりを築く社会教育のあり方』
～今、社会教育委員に求められること～
- 開催日** 平成25年9月5日(木)
- 主 催** 一般社団法人全国社会教育委員連合
近畿地区社会教育委員連絡協議会
和歌山県社会教育委員連絡協議会
和歌山県教育委員会
- 後 援** 滋賀県教育委員会
(予定) 京都府教育委員会
大阪府教育委員会
兵庫県教育委員会
奈良県教育委員会
- 会 場** 〈全体会場〉和歌山県民文化会館
(和歌山市小松原通一丁目1番地)
〈分科会場〉和歌山県民文化会館、ホテルアバローム紀の国、和歌山県自治会館
- 参加対象** 近畿各府県市町村社会教育委員・社会教育関係者等
- 参加費** 2,000円
- 大会日程**

9	10	11	12	13	14	15	16
9 / 5 (木)	受 付	開 会 行 事	記 念 講 演	閉 会 行 事	休 憩 ・ 移 動	分 科 会	

9：40 開場・受付開始（県民文化会館 ホール前ロビー）

会 体 会

10：20 開会行事

- ◇開会のことば 和歌山県社会教育委員連絡協議会副会長
- ◇主催者あいさつ 近畿地区社会教育委員連絡協議会会長
一般社団法人全国社会教育委員連合会長
和歌山県教育委員会教育長
- ◇祝 辞 文部科学省
和歌山県知事
- ◇来賓紹介

11：00 記念講演

- 演題 「南方熊楠の生涯」
- 講師 濱岸宏一（南方熊楠顕彰館館長）

12：20 閉会行事

- ◇次期開催府県あいさつ 大阪府社会教育委員連絡協議会会長
- ◇閉会のことば 和歌山県社会教育委員連絡協議会副会長

12：30 【休憩・移動】

分 科 会

13：40 分科会（以下のとおり）

15：40 終了予定

* この研究大会につきましては、地球温暖化対策の一環として、「クールビズ」を実施しますので、御理解くださるようよろしくお願いいたします。なお、近畿各府県から参加くださる社会教育委員並びに社会教育関係者の皆様も、ぜひクールビズでお越しください。

10 分科会（和歌山県民文化会館、ホテルアバローム紀の国、和歌山県自治会館 各分科会場）

No.	分科会	テーマ	討議のポイント	担当府県
1	地域づくり	学びを生かす地域づくり	・公民館講座を契機に、地域で活躍する人材を育成し、新たな地域力を育む仕組みについて ・公民館事業に参加されたことのない方へのアプローチをどのように行っていくのか	滋賀県
2	人権教育	学ぶ喜びを導く「ひと」「もの」「こと」を活かした人権教育	人権尊重の地域づくりのための効果的な人権教育・啓発について	兵庫県
3	学校・家庭・地域の協働	ふるさとを誇りに思う子どもたちを育む社会教育	地域の活力を活かした学校支援と未来を拓く子どもの育成について	京都府
4	社会教育委員	社会教育委員と学校との協働 ～放課後子ども教室の取組から～	学校・家庭・地域をつなぐ社会教育委員としての関わりについて	奈良県
5	家庭教育支援	家庭教育支援における地域の役割とは ～訪問型家庭教育支援の実践から～	・孤立しがちな、しんどさのある家庭の気持ちを理解するには ・支援が必要な家庭を、どのように元気づけ、地域にまきこんでいけるか	大阪府

※各分科会の場所については、8月に配布予定の参加証と併せて、市町村教育委員会に送付します。

11 参加申込

- ◇ 参加者は、下記の「参加申込票」に参加費（2,000 円）及びお弁当を申し込まれた方は、代金（1,000 円）を添えて、7月9日（火）までに各市町村教育委員会に提出してください。
- ◇ 各市町村教育委員会は、「参加申込票」及び参加費・お弁当代をとりまとめて、7月16日（火）までに各府県教育委員会生涯学習・社会教育主管課あてに送付してください。
- ◇ 各府県教育委員会は、参加をとりまとめ、参加申込総括表（別様式）を7月23日（火）必着で大会事務局まで送付してください。（大会参加費は、大会事務局が指定する銀行口座へ7月30日（火）までにお振り込みください。）
 なお、参加費及びお弁当代については、参加申込後は返還できません。欠席の方の資料については、市町村単位で大会当日受付にて代理の方が受領してください。
- ◇ 参加証と弁当引換券及び分科会会場案内図を大会事務局から各府県教育委員会を經由し各市町村教育委員会へ送付します。
- ◇ 宿泊につきましては、別紙ご案内を参考に、市町村教育委員会または、各自でお申し込みください。

平成25年度近畿地区社会教育研究大会〔和歌山大会〕参加申込票

(ふりがな) 氏名			所属名	
			職名	
希望分科会 (分科会番号を記入)	第1希望		昼食弁当申込 (いずれかに○印を記入)	要 ・ 不要
	第2希望			
大会参加方法	1 公共交通機関 2 貸切バス・マイクロバス（公用も含む） 3 普通乗用車（公用も含む）			

- ※ 所属名は、市町村名、課名等を記入してください。
- ※ 職名は、社会教育委員、社会教育課長、社会教育主事等を記入してください。
- ※ 希望する分科会は、1～5の分科会番号を記入してください。なお、会場の都合等により第2希望となる場合もありますので、予めご了承願います。
- ※ 昼食弁当（お茶付き1,000円）の要・不要について、○印をご記入ください。

会場までの交通のご案内

行き ■和歌山市までのアクセス

■和歌山県民文化会館へのアクセス

●JR「和歌山駅」より

●南海電鉄「和歌山市駅」より

●阪和自動車道「和歌山I・C」より

○JR阪和線(きのくに線)「和歌山駅」下車

○南海電鉄 南海線「和歌山市駅」下車

○バス…約12分(2番のりば) [220円]

「県庁前」バス停下車(バス停Aより約300m 徒歩約3分)

○タクシー…約10分 [1,000円程度]

○バス…約10分(9・10番のりば) [220円]

「県庁前」バス停下車(バス停Aより約300m 徒歩約3分)

○タクシー…約5分

○徒歩…約20分

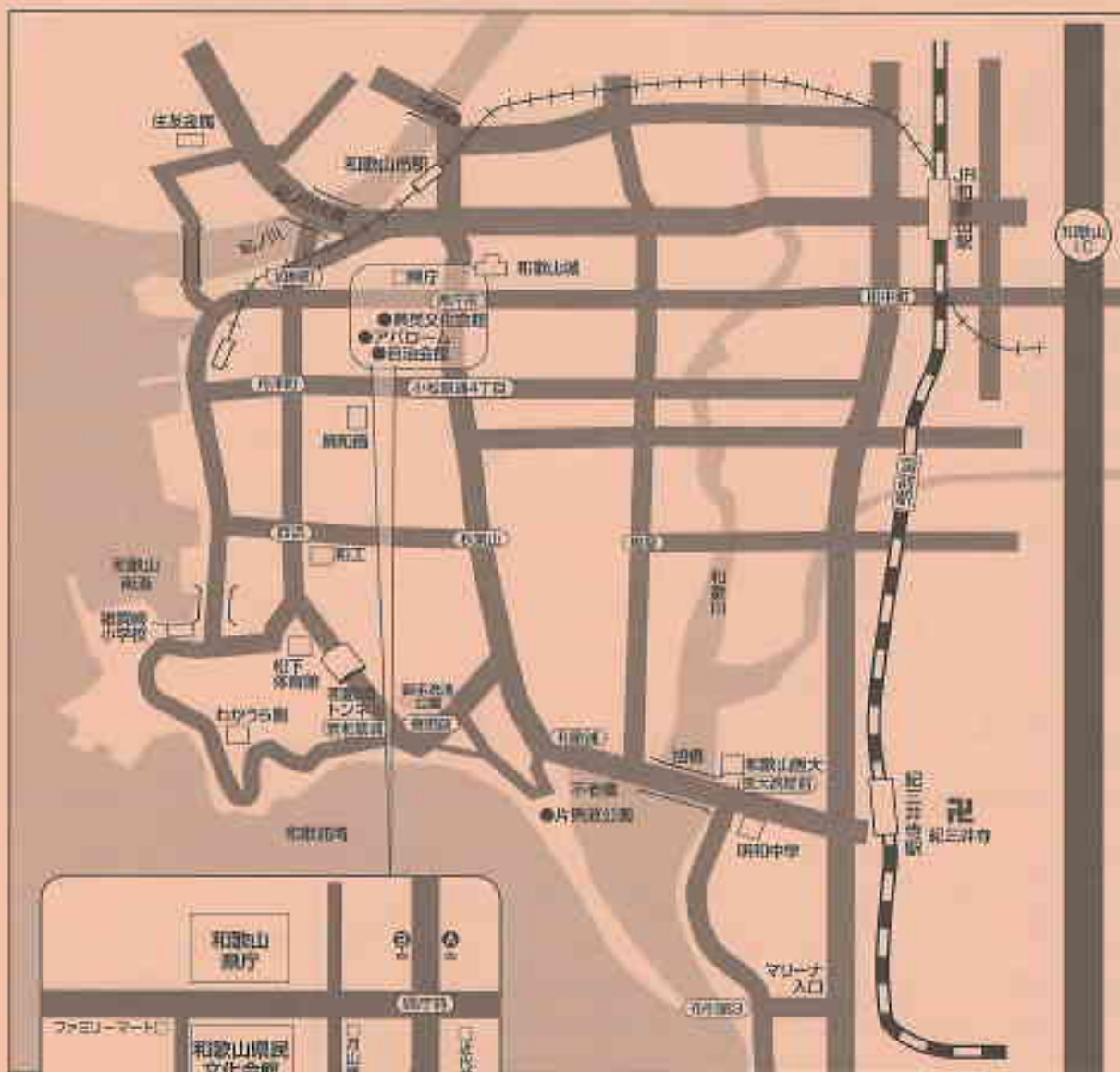
○お車…約15分(約4Km)

帰り ■JR和歌山駅までのアクセス

■南海電鉄「和歌山市駅」までのアクセス

○県庁前バス停Bより約12分

○県庁前バス停Bより約10分



平成25年度 近畿地区社会教育研究大会事務局
(近畿地区社会教育委員連絡協議会事務局)

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地

和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課内

電話 073-441-3720 FAX 073-441-3724